やったぜ！　キャンポリー

平成21年8月12日（水）～15日（土）ふもとっぱら
大会テーマ：　「輝く未来に　スカウト魂」

地震があり心配だったが、無事行けた。少し足場が悪くキャンプ場に着くのも疲れた。班長なので、みんなをしっかりまとめられるか不安があったが、なんとかなったのでよかった。キャンプ場からの景色はとてもよく富士山もしっかり見えた。ボーイスカウト最後のキャンプがよい思い出になってよかった。　（ＢＳ　Ｓ）

富士山の近くに行くのが初めてで、富士山がはっきりと見えるとうれしかったが、ぼんやりとしか見えず残念だった。キャンポリーではみんなと楽しく活動できてよかった。　（BS　Y）

初め驚いたのは朝霧高原にすごい霧があったことだ。夏なのに涼しいと感じた。夜トイレに行こうとした時も周りが見えない位だった。二日目にみんなでゲームをしたり、夜台湾の人との交流をしたりして、とても楽しかった。またボーイスカウト活動に参加したい　（ＢＳ　Ｏ）

キャンポリーも３泊するのも初めてだったので、おもしろかった。カレーがうまかった（BS　H）

思い出、それはカレー。すごいから。①にんじん　洗ってない＋皮むいてない②肉　いため忘れた。でも意外とうまい。僕の思い出。　（BS　S）

一番の思い出はパイオニアリングだ。Ｓ君がどんどん角縛り等をしていて刺激を受け、僕もがぜんやる気になった。すごく力がほしく大変だったが、足等をうまく使って強く締め上げることができた。とてもよかった。　（BS　S）

一日目は霧がすごくて、テントをたてるのがとても大変だった。周りが何も見えず方向がわからなかった。１１団の女子が来たのでごはんが上手にできた。すごく疲れたが、また行きたい。　（ＢＳ　K）

初の班長を突如やることになった。うまくできるか緊張したが、グリンバー会議にでたり、いろいろやれて楽しかった。二日目に優秀班章をとれてうれしかった。　（BS　H）

雨も降ったが、フレンドリーシップや寝る時にみんなでトランプをして遊び、楽しかった。売店ではネッカリングも買った。途中で熱が出たが次の日には治ったのでよかった。また行きたいと思った。（ＢＳ　N）

県内の色々な所から人が来ると聞いてすごく緊張した。普通にしゃべれてよかったが、もう少ししゃべりたかった。今度二級以上をとり、日本ジャンボリーで、日本の色々な所の人としゃべりたい。
（ＢＳ　Ｋ）

会場が広かったのでいろんなことをした。ゲームもけっこうおもしろかった。時々鳥の群がきたのがすごかった。バーナーなど使ったので、いつもより楽だったし、いろんなメニューが食べれた。微熱がでたりブヨにさされたけれどおもしろかった。
（BS　W）

ｷｬﾝﾎﾟﾘｰは夏の大イベントだった。３人という少ない班員だったものの楽しくできた。初の３泊４日ということでつらいイメージでいっぱいだったが、よい思い出となった。みなでやるキャンプは最高だった。
（ＢＳ　Ｓ）

楽しかったことは、フレンドシップだ。がんばったことは、サインをもらうため他の団の人を捜すことだ。全部うめようと思ったが、３つうまらず,残念だった。機会があったら、全部うめたい。（ＢＳ　Ｓ）

今回はとても楽しかった。久しぶりで最初女子を見たとき、驚いたが「俺がいない間に入ったんだろう。」くらいにしか思わなかった。話をしている間に気をゆるせるようになった。　（BS　O）

ほぼ現隊のままだったので余裕をもってスカウト達を見ることができた。4日間の活動を通してスカウト達の成長を感じ、「キャンプ」としてはいい形で終われた。同時にボーイ隊としての今後の課題も多く感じた。個人としても来期に向けての目的がもて、収穫の多いものとなった。　（副長　S）

「みんなでｷｬﾝﾎﾟﾘｰに行こう！」
”スカウト達に大きな大会を体験させてあげたい。”
一個隊を編成するなんて大それた発想でしたが、4月初旬の保護者会で皆さんにお話しさせて頂きました。
大会中は大きなトラブルや怪我がなかったかわりに、インフルエンザ騒動で大営火が中止になるアクシデントがあり、不完全燃焼は否めません。

しかし、一年の集大成として、成長したスカウト達を見ることができ、隊長冥利に尽きる大会でした。
参加隊43隊の中で我が210隊が一番だったと私は思っています。
隊長をｷｬﾝﾎﾟﾘｰに連れて行ってくれたスカウト達、ありがとう！　（隊長　大隅久乃）